

● 診療科の特色

- 1) 平成 17 年度より産科とともに岡山県の総合周産期母子医療センターに認定され、名実ともに岡山県の周産期・新生児医療の中心的役割を担っており、新生児の総合内科として、関係各科、岡山大学病院などとの連携により、新生児のすべての疾患に対応している。
- 2) 認可された新生児集中治療室(neonatal intensive care unit: NICU)病床は 18 であり、中国四国地方で最大規模である。2023 年には GCU 加算(新生児治療回復室入院医療管理料)病床 12 を取得し、より質の高い医療と看護を提供できる体制を整備した。
- 3) 新生児科ではシフト制を導入し、NICU を 24 時間体制で診療している。ドクターカーによる新生児搬送は 24 時間 365 日可能である。
- 4) NICU での管理にとどまらず、妊娠中に異常に気づかれた胎児、在胎 35~36 週の Late preterm(後期早産)児、産科病棟の赤ちゃん(いわゆる正常新生児の診療も、産科病棟で行っている。
- 5) 母乳育児を推進し 1991 年に先進国で初めて、「赤ちゃんにやさしい病院」(Baby Friendly Hospital: BFH)に認定されており、また 2023 年には新生児センター(5BNICU, GCU)が日本で初の「赤ちゃんにやさしい NICU」(Baby Friendly NICU: BFNICU)に認定された。産科病棟の赤ちゃんのみならず、NICU に入院された赤ちゃんについても積極的に母乳育児支援を行い、出生体重 1000g 未満の超低出生体重児の退院時の母乳育児率は 7 割を超えており世界でも例をみないほど高率である。
- 6) NICU に入院した赤ちゃんの両親は 365 日 24 時間いつでも面会が可能であり、祖父母、きょうだい面会も積極的に実践している。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
年間新入院患者数(合計)	311	280	292
低出生体重児(出生体重 2500g 未満)	155	117	157
極低出生体重児(出生体重 1500g 未満)	31	42	29
超低出生体重児(出生体重 1000g 未満)	13	21	15
早産児(在胎 37 週未満)	104	109	114
超早産児(在胎 28 週未満)	11	15	14
新生児呼吸窮迫症候群	13	24	17
新生児低血糖	27	34	24
重症新生児仮死	14	13	20
先天性心疾患	11	8	11
未熟児動脈管開存症	6	10	8
多胎児	70	58	72
染色体異常症	6	7	8
人工呼吸管理/非侵襲的人工換気	35/38	39/48	32/35
動脈ライン/経皮的中心静脈カテーテル	19/63	23/57	17/40
一酸化窒素吸入療法	6	6	5
低体温療法	2	3	0

2. その他

- 1) 特に力を入れて取り組んでいる事項
 - a) 超低出生体重児の後障害なき救命率の向上
 - b) 新生児蘇生法普及事業(NCPR)
 - c) 出生時仮死児の予後向上に向けた低体温療法の実施
 - d) 家族にやさしいより良きファミリーケア、胎児期からのファミリーケア(プレネイタルビジット)
 - e) NICU での「赤ちゃんにやさしい病院運動(Baby friendly hospital initiative: BFHI)」推進

● 研究業績

論文

- 1) Watanabe H, Washio Y, Tamai K, Morimoto D, Okamura T, Yoshimoto J, Nakanishi H, Kageyama M, Uchiyama A, Tsukahara H, Kusuda S
Postnatal longitudinal analysis of serum nitric oxide and eosinophil counts in extremely preterm infants
Pediatrics and Neonatology, 65, 3, 276–281, 2024, MAY
- 2) Ohyama A, Matsumoto N, Tamai K, Washio Y, Yoshimoto J, Yorifuji T, Tsukahara H
A nationwide birth cohort in Japan showed increased risk of early childhood hospitalisation in infants born small for gestational age
Acta Paediatrica, 113, 3, 2024, 480–485, 2024, MAR
- 3) Tamai K, Matsumoto N, Yorifuji T, Takeuchi A, Nakamura M, Nakamura K, Kageyama M, Neonatal Res Network Japan
Delivery room intubation and neurodevelopment among extremely preterm infants
Pediatric Research, 95, 7, 1897–1902, 2024, JUN
- 4) Tamai K, Takeuchi A, Nakamura M, Matsumoto N, Yorifuji T, Kageyama M
Respiratory Severity Score and Neurodevelopmental Outcomes at Age 3 Years in Extremely Preterm Infants
American Journal of Perinatology, 41, 13, 1848–1857, 2024, OCT
- 5) Tamai K, Takeuchi A, Nakamura M, Nakamura K, Matsumoto N, Yorifuji T, Kageyama M
Association between mean airway pressure during high-frequency oscillatory ventilation and pulmonary air leak in extremely preterm infants during the first week of life
Frontiers in Pediatrics, 12, 2024, May 30
- 6) Ohyama A, Tamai K, Hara M, Kageyama M
Pulmonary artery sling concomitant with duodenal atresia: A case report
Pediatrics and Neonatology, 65, 5, 521–522, 2024, SEP
- 7) Tamai K, Matsumoto N, Yorifuji T, Takeuchi A, Nakamura M, Kageyama M
Postnatal weight loss and neurodevelopmental outcomes at age 3 years in extremely preterm infants: a cohort study
BMC Pediatrics, 24, 1, 2024, SEP 30
- 8) 竹内 章人
SGA 児の神経発達
小児保健研究, 83, 5, 275–278, — 13, 2024 年 9 月 30 日
- 9) 影山 操
【知って得する胎児・新生児の心疾患 2024】晚期循環不全
周産期医学, 54, 7, 1046–1049, 2024 年 7 月 10 日
- 10) 大山麻美、鷲尾洋介、竹内章人
FGR・SGA 児のトピックス 新生児: SGA 児の予後 神経発達症・脳性麻痺
周産期医学, 55, 2, 219–223, 2025 年 3 月 3 日
- 11) 玉井 圭
【迷っていませんか? 新生児発作、周期性呼吸 etc 新生児の症状・所見の見分け方】産瘤と帽状腱膜下血腫・頭血腫
with NEO, 37, 4, 503–509, 2024 年 8 月 1 日

学会発表

- 1) 就学に向けて 一診断の有無だけで語らない、幼児期からの発達特性理解とその共有—
竹内 章人
超早産児神経発達症研究会第1回学術集会 2024年4月9日
- 2) 抗SS-A抗体陽性妊婦における先天性心ブロックを発症していない胎児の管理
影山 操
第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月11日
- 3) 先天性十二指腸閉鎖症に合併した左肺動脈右肺動脈起発症の一例
大山 麻美
第60回日本周産期・新生児医学会学術集会 2024年7月13日
- 4) Rapid exome sequencingにより早期診断に至ったARF3遺伝子異常の症例
神谷 雄作
第60回日本周産期・新生児医学会学術集会 2024年7月14日
- 5) 超早産児における生後10日以内の最大体重減少率と3歳時予後との関連について
玉井 圭
第60回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023年7月15日
- 6) Respiratory severity score and neurodevelopmental outcomes at age 3 years in extremely preterm infants
玉井 圭
The 23rd Congress of the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies 2024年9月5日
- 7) 【全国LD親の会企画シンポジウム】地域での連携のために一般医療機関ができること
竹内 章人
一般社団法人日本LD学会第33回大会 2024年10月20日
- 8) 原因不明の先天性皮膚潰瘍の1例
杉山 啓明
第76回中国四国小児科学会 2024年10月26日
- 9) 長期予後から見る双胎児の至適な分娩期間について
玉井 圭
第17回日本早産学会学術集会 2024年11月2日
- 10) 【教育講演】早産児の脳と心の発達—長期的な予後を見据えた周産期管理へ—
竹内 章人
第17回日本早産学会学術集会 2024年11月2日
- 11) 早産児における日齢7までの高ナトリウム血症と3~4歳時の神経学的予後の検討
村上 美智子
第68回日本新生児成育医学会・学術集会 2024年11月8日
- 12) Postnatal weight loss and neurodevelopmental outcomes at age 3 years in extremely preterm infants: a cohort study
玉井 圭
The 6th Japan-Taiwan-Korean Joint Congress on Neonatology 2024年11月9日
- 13) 新生児期の血液透析により救命し、早期診断できたシトルリン血症I型の1例
杉山 啓明
第97回日本小児科学会岡山地方会 2024年12月1日
- 14) RSウイルス抗体製剤投与後にもかかわらず人工呼吸管理を要した重症RSV細気管支炎の一例
村山 昇平
第59回日本周産期・新生児医学会学術集会 2023年11月3日

講演、研究会

- 1) 小児・母性看護, No.38 妊娠・授乳と薬
中村 信
岡山県看護協会研修会⑥ 2024年5月22日
- 2) RSウイルス予防の現状と課題を新生児の立場から考える
影山 操
Beyfortus Expert Webinar in OKAYAMA 2024年6月4日

- 3) NICU 卒業生の未来を守り家族を支えるフォローアップ外来
竹内 章人
日本新生児成育医学会 NICU 入門セミナー 2024 年 6 月 22 日
- 4) 限局性学習症のお子さんのサポート
竹内 章人
S.E.N.S の会岡山 夏季研修 2024 年 7 月 27 日